



9月14日(木)、岬陽小学校の3年生が、魚市場と横須賀自然・人文博物館を見学しました。

魚市場では、マグロがたくさん並んでいる様子や入札の様子を見た後、ボランティアの方から、マグロの種類、漁の仕方等について、説明を受けました。

その後、横須賀市自然・人文博物館へ。学芸員の方に、移築保存した大正時代の民家について説明を受け、実際に民家の中に入れていただきました。子どもたちは、初めて見る古民家に興味を持ち、熱心に見学していました。

お弁当は、横須賀中央公園で食べました。

午後は、自然・人文博物館を、班別に自由見学となりました。様々な展示物を見て過ごしました。



9月21日(木)に、上宮田小学校3年生が、魚市場、丸福水産、観音崎自然博物館の見学をしました。

最初に魚市場で、マグロの入札の様子を見学、その後ボランティアの方の説明を聞きました。

丸福水産では、社長さんたちの説明を受けながら、マグロの切断や皮剥きなどを見学し、冷凍庫では、 $-25^{\circ}\text{C}$ 、そして、およそ $-50^{\circ}\text{C}$ の世界を体験し、その寒さに驚き、盛り上がっていました。クラス全員で、魚のはかりに乗って全員の体重合計を測ることも経験しました。(ちなみに753kgでした)社長さんへの質問コーナーもあり、工場で使用している黄色い手袋は $-60^{\circ}\text{C}$ でも壊れないことなどを知ることができました。



昼食後、観音崎自然博物館の山田和彦学芸部長が、スライドショーで、三浦で見られる魚について話してくださいました。タイヤより大きなヒトデがいることや、ミサキコウイカなどミサキ〜という名前がついた生き物がかなりいることなどを知りました。

その後、タッチプールでヒトデやナマコや魚を触ったり、山田先生が、朝市場から持ってきたエイやサバ、マツカサウオなどを触ったりすることを体験し、子どもたちは大盛り上がりでした。

(この日の山田先生は、たくさんのウミウシがプリントされたTシャツとおなじみのビーチサンダルでした)

9月22日(金)には初声小学校が、10月3日(火)には名向小学校が観音崎自然博物館を訪れました。

今年度の海洋教育写真コンテストの応募が締め切れ、過去最高の927点の作品が届きました。(去年は575点)内訳は、小学校286点、中学校641点でした。927という数字は、三浦市内の小中学生の3人に1人に当たります。それだけの児童・生徒が海に出かけ、写真を撮ったということになり、三浦市の海洋教育の成果があらわれたのだと思われまます。特に、今回は、中学生の応募が大幅に伸びました。力作が多く、全体的なレベルも上がっています。



(文責 事務局長 渋谷)

**海洋教育についてのお問い合わせは、本研究所まで (046-854-9443)**